

平成 30 年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース
学校教育専攻

沖縄県内地域指定推薦

共通問題

一 般 推 薦

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

非公開

非公開

(岩川直樹 文, 『人権の絵本② ちがいを豊かさに』, 大月書店, 2000年,
26～27 ページ, 抜粋・一部改変)

問1 この話の作者の意図するところを, 250字以上300字以内で説明しなさい。

問2 この話を小学生に読み聞かせた時, どのような反応が予想されますか。また, あなたはその反応に対してどのように向き合い, 関わっていきたいと思ますか。800字以上900字以内で述べなさい。

平成 30 年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

沖縄県内地域指定推薦

共通問題

一 般 推 薦

出 題 の 意 図

学校現場には、多様な考え方や立場の異なる子どもや保護者、地域の方々が関わっている。相手の立場に立ち、理解し合う態度は不可欠であり、子どもにとってより良い方法を模索していくことが求められている。更に、現在の教育現場では、若い教師自身が自らとは異なった環境で育っている子どもに対して、理解が不十分であったり共感できなかったりするとの指摘もある。

本出題文は日本でよく知られている昔話『桃太郎』を基に、「ちがう立場」から書かれたものである。物事には、多面的な見方・考え方があり、違う立場に立ってみることによって全く異なった文脈が生まれる事に気づかせたい。そして、子どもの多様な見方や考え方を受容し、それに対してどのように向きあい関わっていきたいか考えさせたい。

本問題の趣旨は、教育学部学校教育教員養成課程アドミッションポリシーの「教員として主体性を持ち、子どもおよび社会と関わっていきたい人」「教育の理念と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身に付け、思考力、判断力、表現力を持つ人」に該当する。